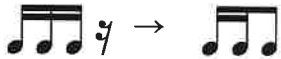

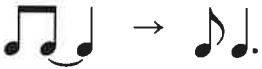



『青い瞳』 寸評

- ・非常に手が込んでいる 挑戦した甲斐がある内容
- ・さわやかな旋律線にピアノでブ厚い和音の支え
- ・m.13-16のしまいかた、意外性があっていい
- ・はっきりと性格の分かれる4小節ずつで構成される8小節の大楽節
それが後半で変奏される←形式の見通しのよさ
- ・m.13-14ピアノの軽い伴奏が弦楽器のピチカートと相まってとりわけ印象にのこる

完成度をさらに上げるために

- ・まずはVa.をカッチリ埋めてきたのをほめたい
- ・扱いは；主旋律が使ってない構成音で上手に補充し、
リズムの空きをねらい、じゃまにならないうごきを工夫
オクターヴをふくむ和声的な平行進行を添えて、
より旋律線を輝かせるなどが、かんがえられる
- ・可能性をあれこれためしてみても、最終的に引き算して
のこるくらいで決められるとよい
- ・対位法が興味の主役ではなく、和声中心の中で
旋律同士の絡みが時おりキラッと光るくらい
- ・構成音を用いて主旋律の和声を補充する←とてもよくできている
- ・リズムの空きをねらった工夫←これもよくできている
- ・和声的な平行進行←もうすこしほしいところ
- ・評価：空きをねらったリズムの埋めがやや多い結果、
主旋律よりVa.の方がいそがしくなったところがある (m.1-4)
- ・m.13-14の記譜  → 
- ・m.5, 7の記譜  → 
- ・m.15 *pizz.*ではなく *arco* (=弓) とするとまた弓での演奏に戻る
- ・m.7-8のコード付け (参考例参照)
- ・m.16 b.2ピアノの左手 属音のドの方がより終止感がつよまる
- ・m.16 b.1ピアノの右手 第3音を入れよう
- ・m12のAm7はC7にしよう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

・対旋律の参考例

Violin

Viola

5

B \flat C/B \flat F/A B \flat 7 C

とてもよくできました。

持魔勉